

別紙

本件展示物一覧

1 「往く雲／春陽」



2 「往く雲／北風」



3 「往く雲／小春日和」



4 「往く雲／五月雨」



5 「往く雲／風光る」



6 「往く雲／疾て風」



7 「往く雲／二百十日」



8 「往く雲／夏を追う」



9 「往く雲／春疾風」



10 「往く雲／春暁」



11 「往く雲／送り梅雨」



1 2 「往く雲／雁渡し」



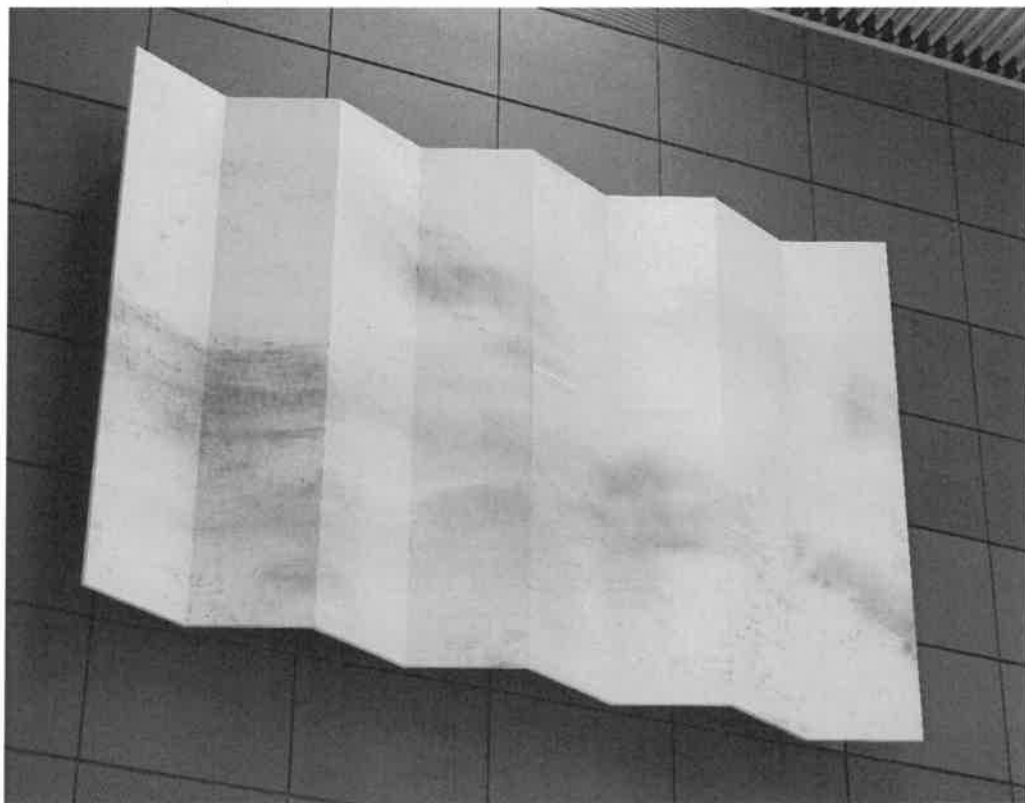
1 3 「往く雲／冬旱」



1 4 「往く雲／春薄暮」



15 「天空図屏風シリーズ「真日暮れて」」



〔原典〕

何^{あぜ}と言へ かさ寝に逢はなく 真日暮れて 宵なは来なに 明けぬ^{しだ}時来る
(万葉集 卷一四一三四六一)

〔口語訳〕

いったいどういうつもりなのだろうか。

あの約束は何だったのだろうか。

日が暮れて、やっどこさ宵時になったのに。

あたしはひたすら待つ女。

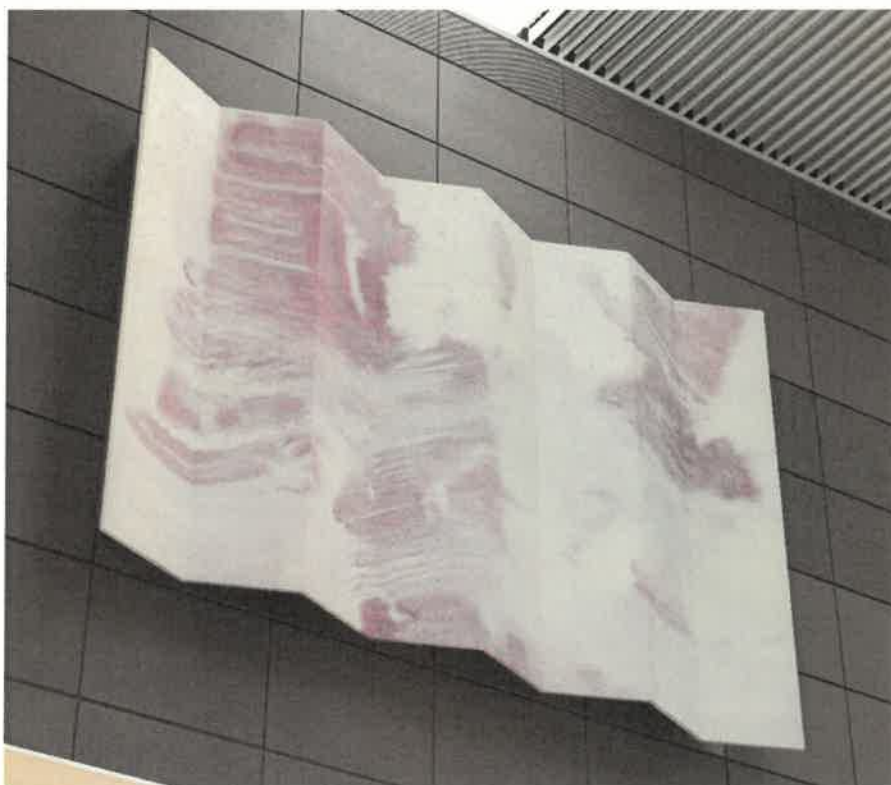
あなたを焦がれて待つ女。

でもどうして

明け方になって、のこのこやって来るのね、あなたは。

(訳：J)

16 「天空図屏風シリーズ「朝日影」」



〔原典〕

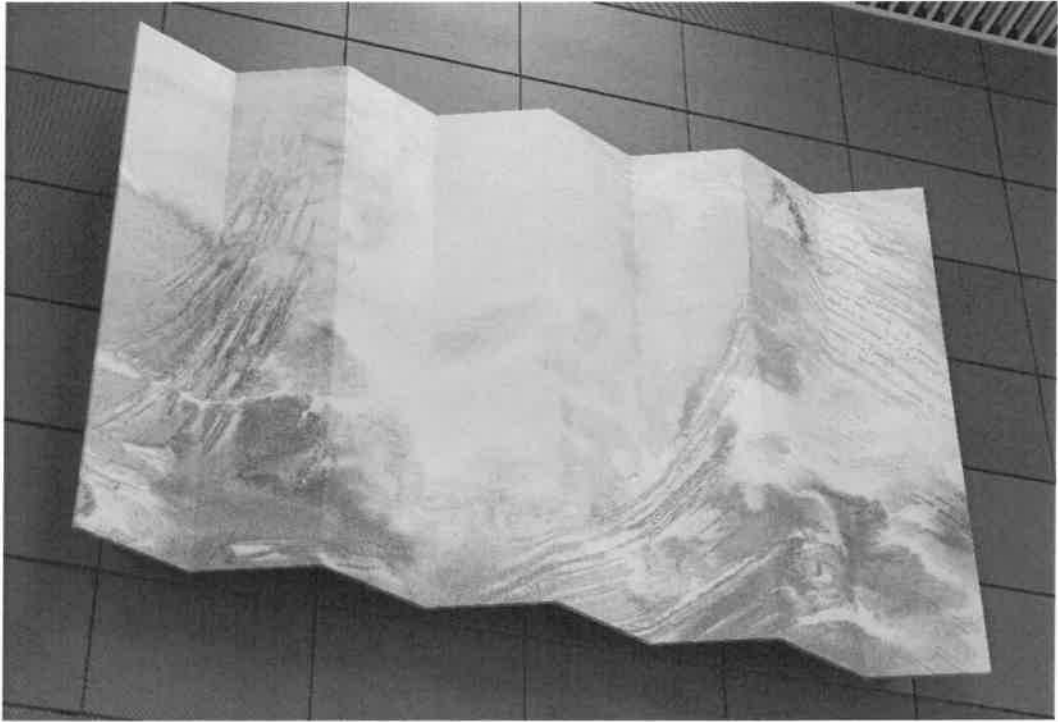
朝日影 にほえる山に照る月の 飽かざる君を 山越しに置いて
(万葉集 卷四一四九五)

〔口語訳〕

朝日に山が輝いている
そこに白じらと残る月のように、私の心は
愛しいあなたは遥かに山の向こう側
それでも私は、いつまでもあの月のようで
私はどうすれば—

(訳：J)

17 「天空図屏風シリーズ「日は照らせれど」」



〔原典〕

茜さす 日は照らせれど ぬばたまの 夜渡る月の 隠らく惜しも
(万葉集 卷二一一六九)

〔口語訳〕

大空に日輪は輝けり
されど
漆黒の夜を渡る月はいずこ
哀しい

(訳：J)

18 「天空図屏風シリーズ「入日見し」」



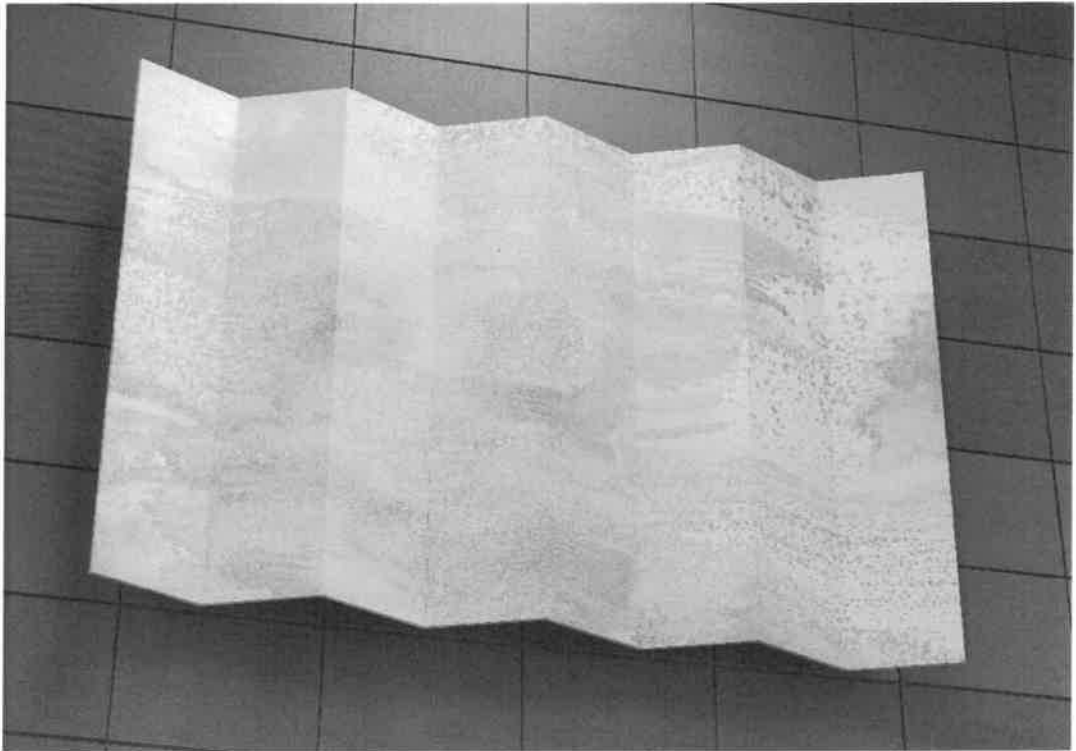
〔原典〕

わたつみの 豊旗雲に 入日見し 今夜の月夜 さやに照りこそ
(万葉集 卷一一一五)

〔口語訳〕

大海原にたなびき渡るあの豊かで大きな雲を見よ
その雲に今まさに入日がさしている
さあ、今宵の月夜は
清かな月世界であろうよ
(訳：J)

19 「天空図屏風シリーズ「この日暮れなば」」



〔原典〕

何処にか われは宿らむ 高島の 勝野の原に この日暮れなば

(万葉集 卷三一二七五)

〔口語訳〕

さて、どうしたものかな。

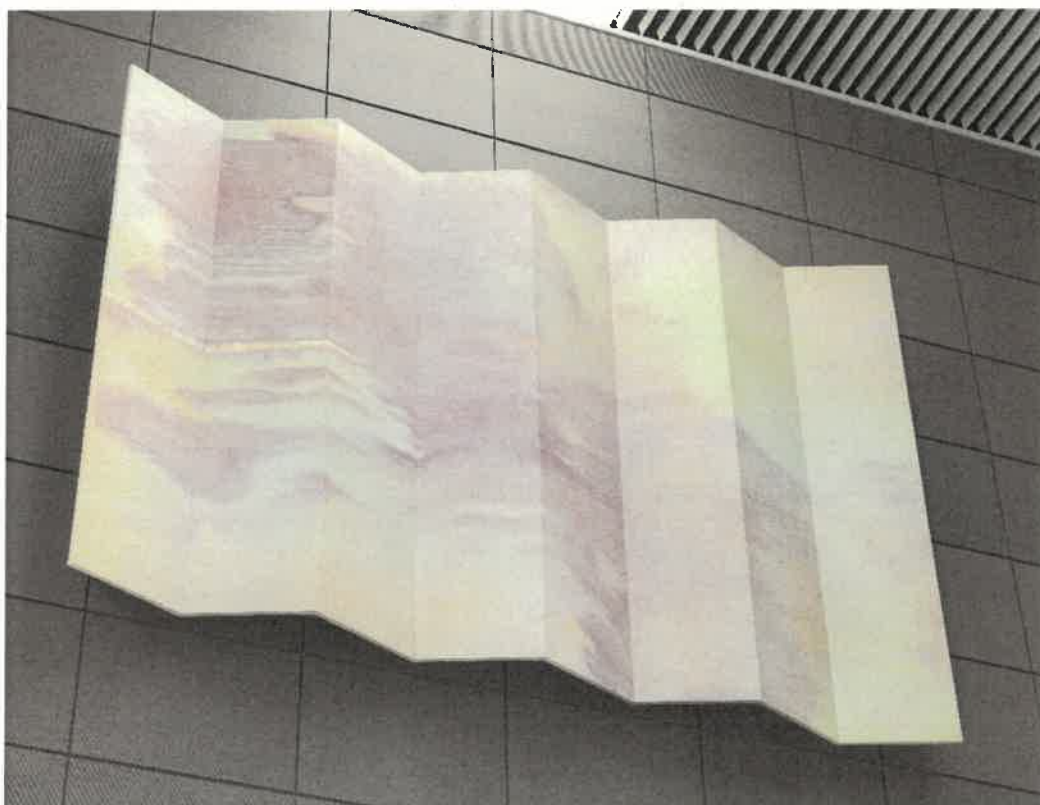
いったいどこに宿ろうか。

高島の勝野の原で、

この日がくれてしまったならば。

(訳：J)

20 「天空図屏風シリーズ「日の暮れゆけば」」



〔原典〕

玉はやす 武庫の渡に 天づたふ 日の暮れゆけば 家をしそ思ふ
(万葉集 卷一七-三八九五)

〔口語訳〕

武庫の渡りでわくわくさ
向こうは難波、心も躍る
だけど、天駆ける日が暮れてゆくと
我が家のことばかりが
しきりに気になって仕方がないんだ
(訳：J)

以 上

別紙

本件展示物（1～14）模様部分一覧

1



5











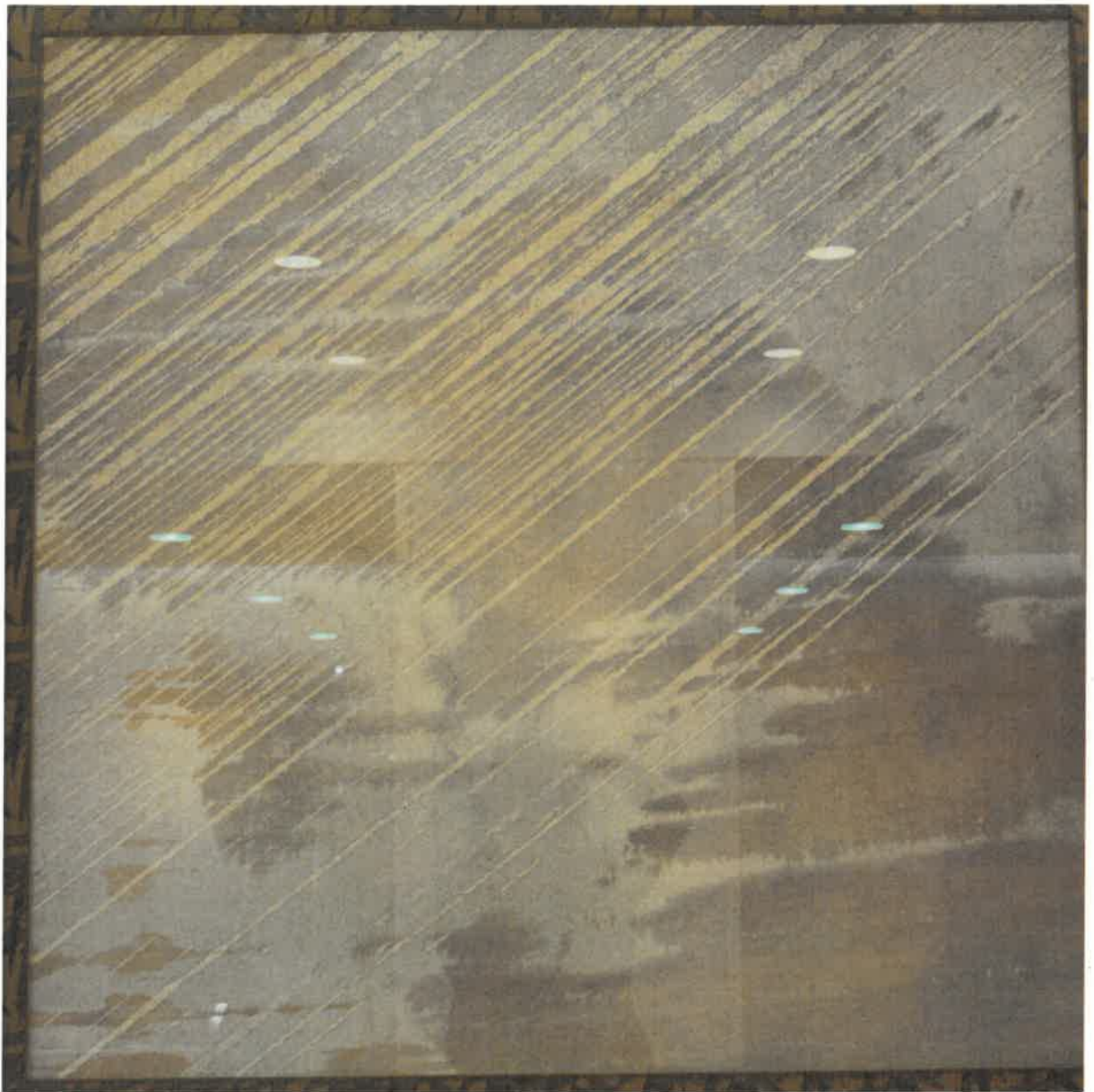
















別紙

本件染描紙（15～20）一覽

15



16



17



18



19



20



15 (四角い枠を付したもの)



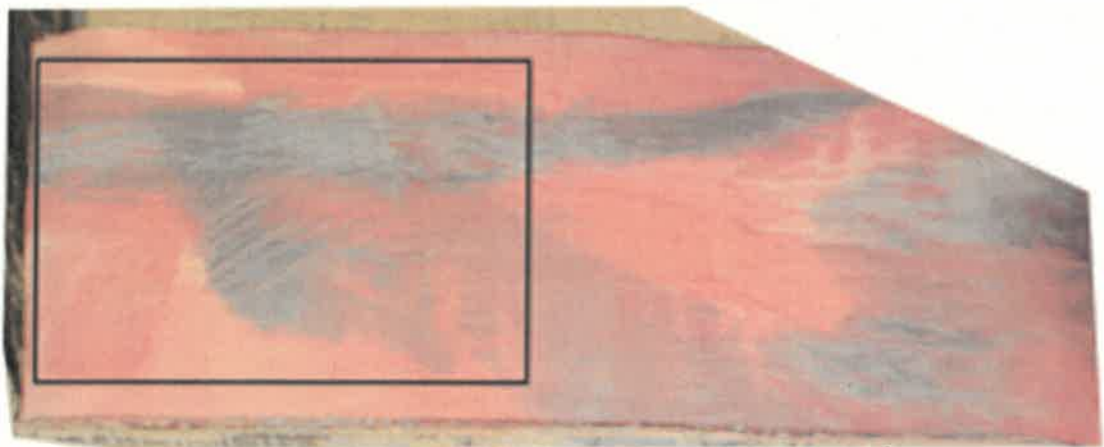
16 (四角い枠を付したもの)



17 (四角い枠を付したもの)



18 (四角い枠を付したもの)



19 (四角い枠を付したもの)



20 (四角い枠を付したもの)



別紙

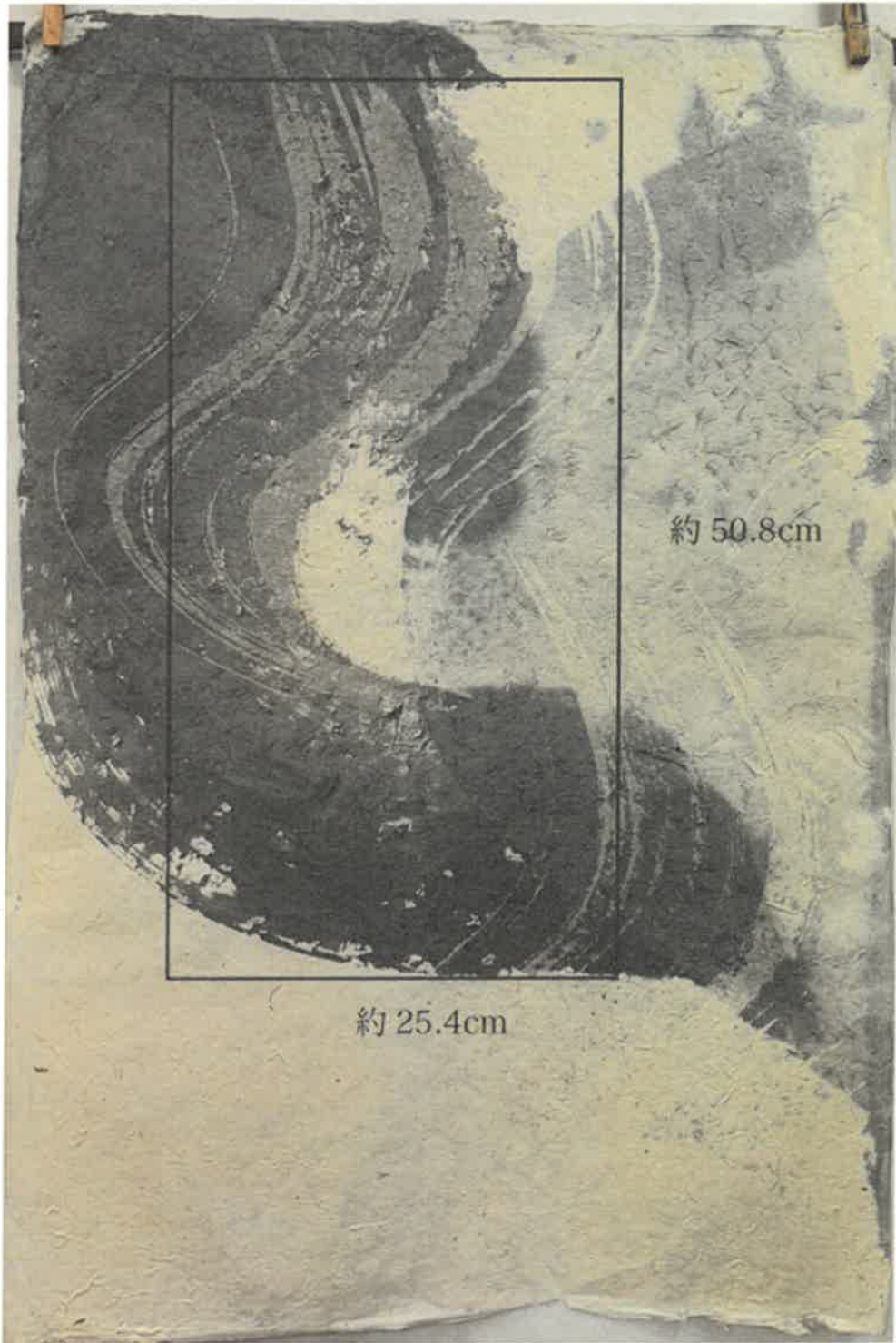
類似染描紙一覽

1



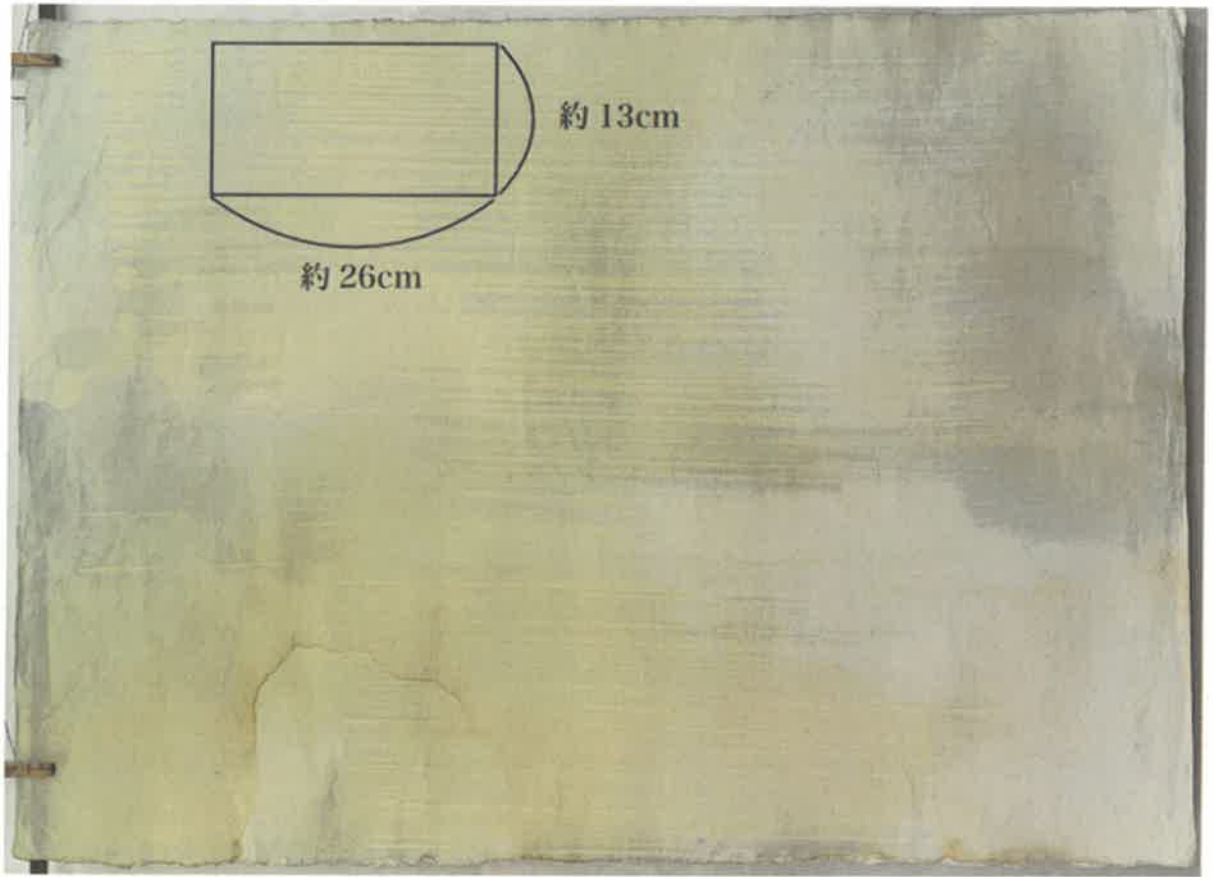
5

2



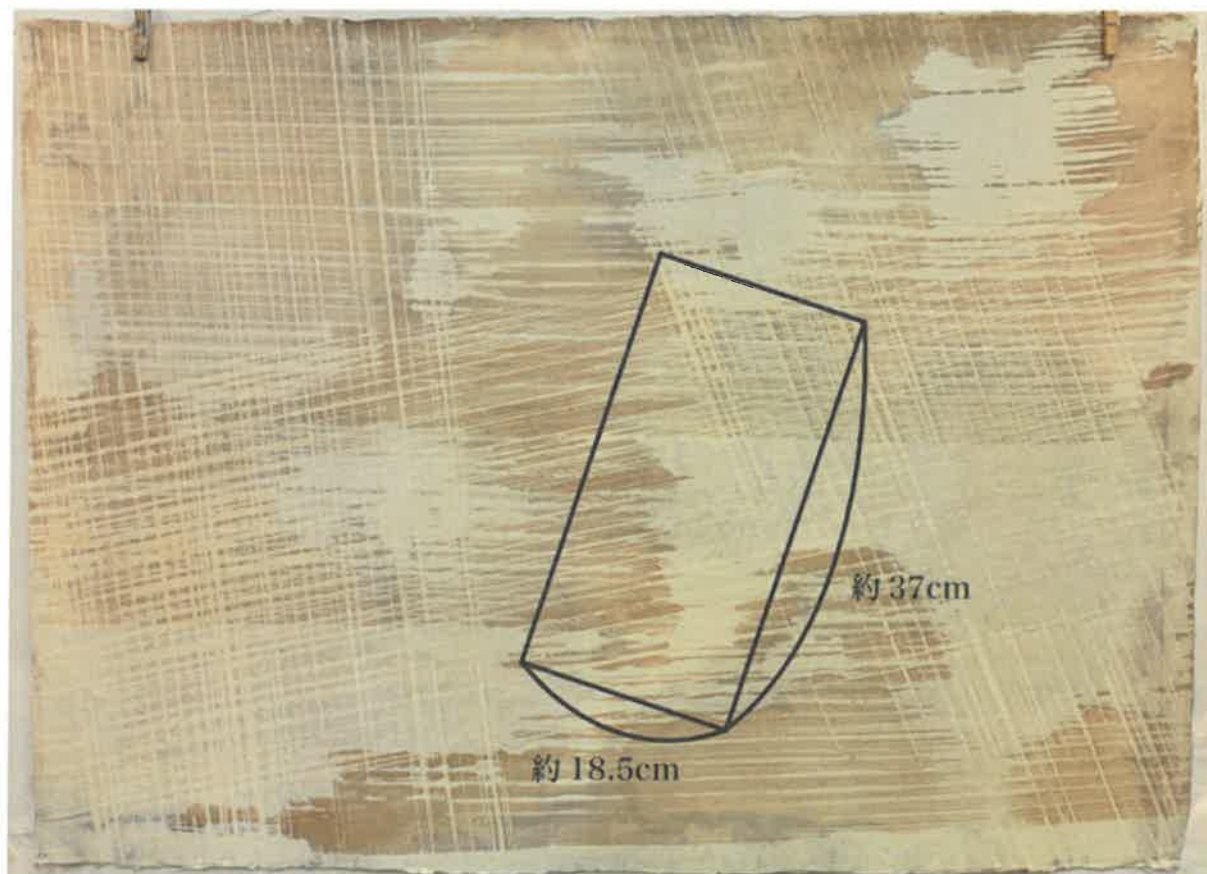


4

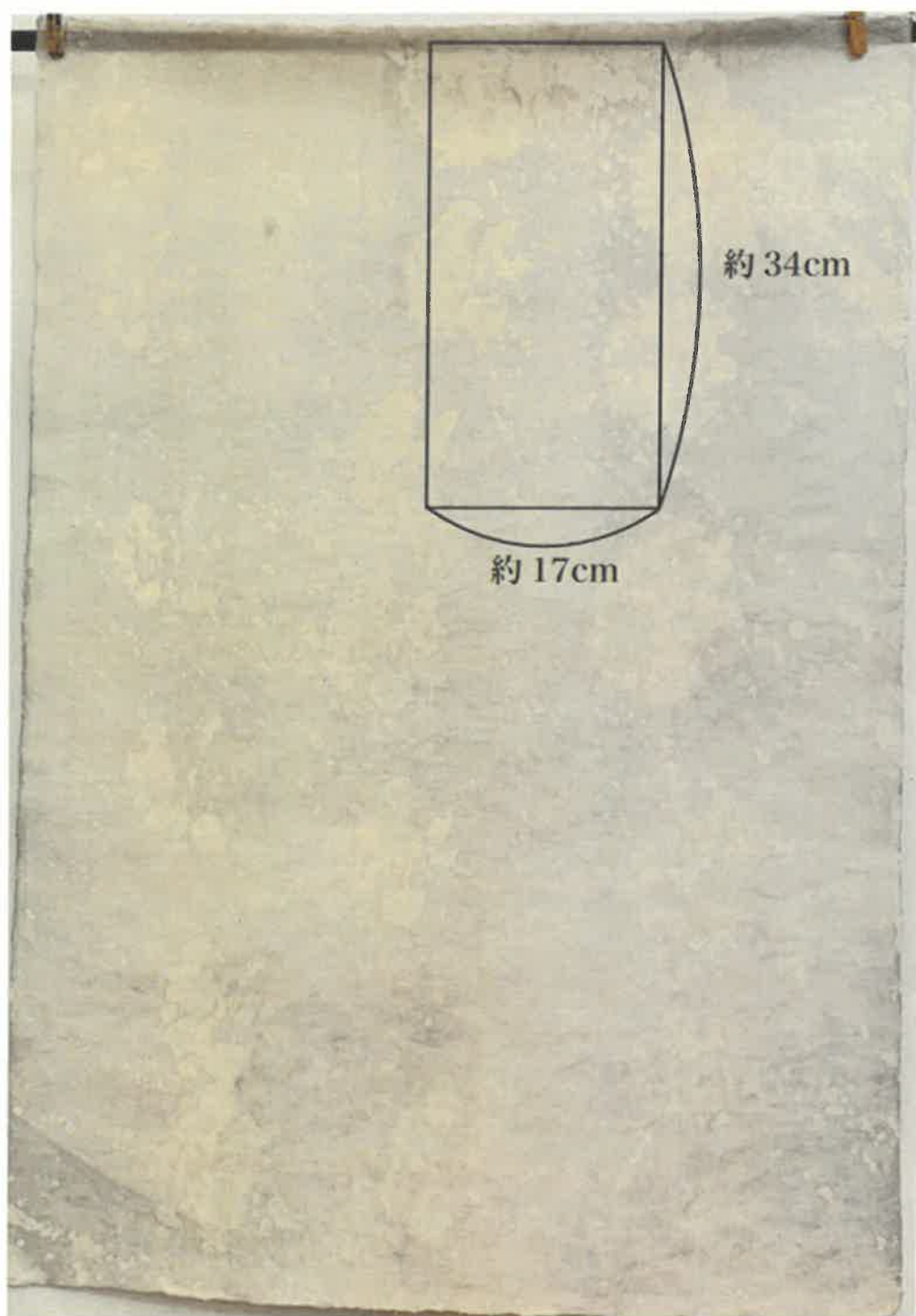


5







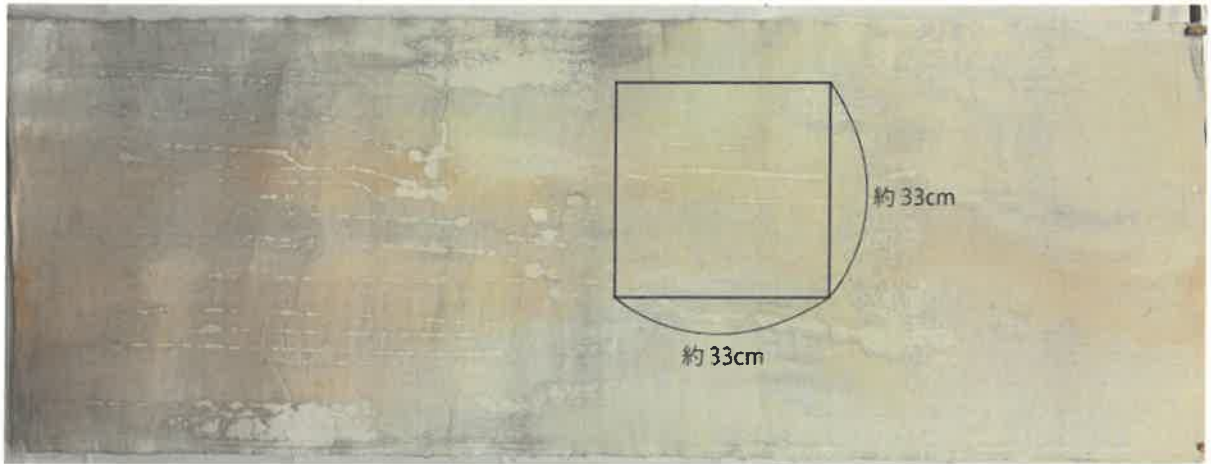




約 21.5cm

約 43cm

1 0

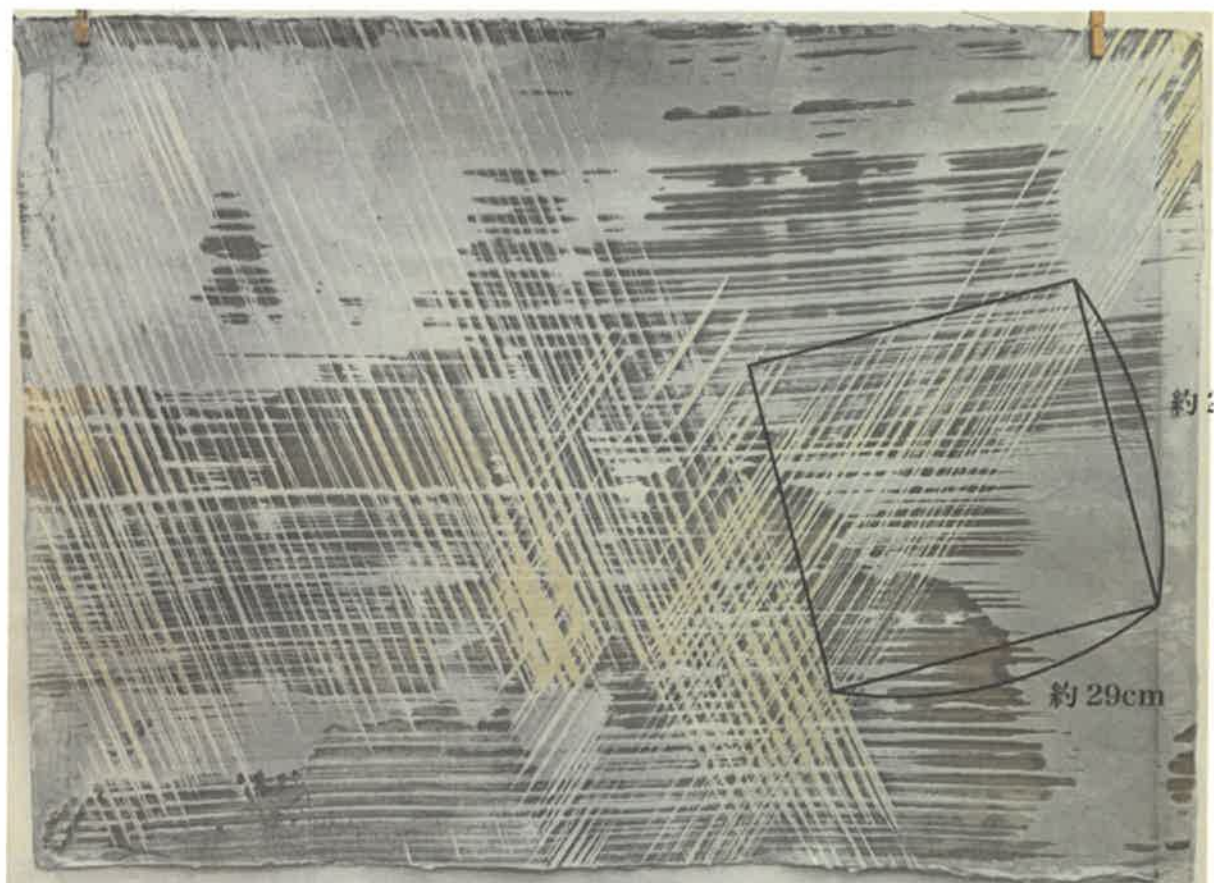


1 1

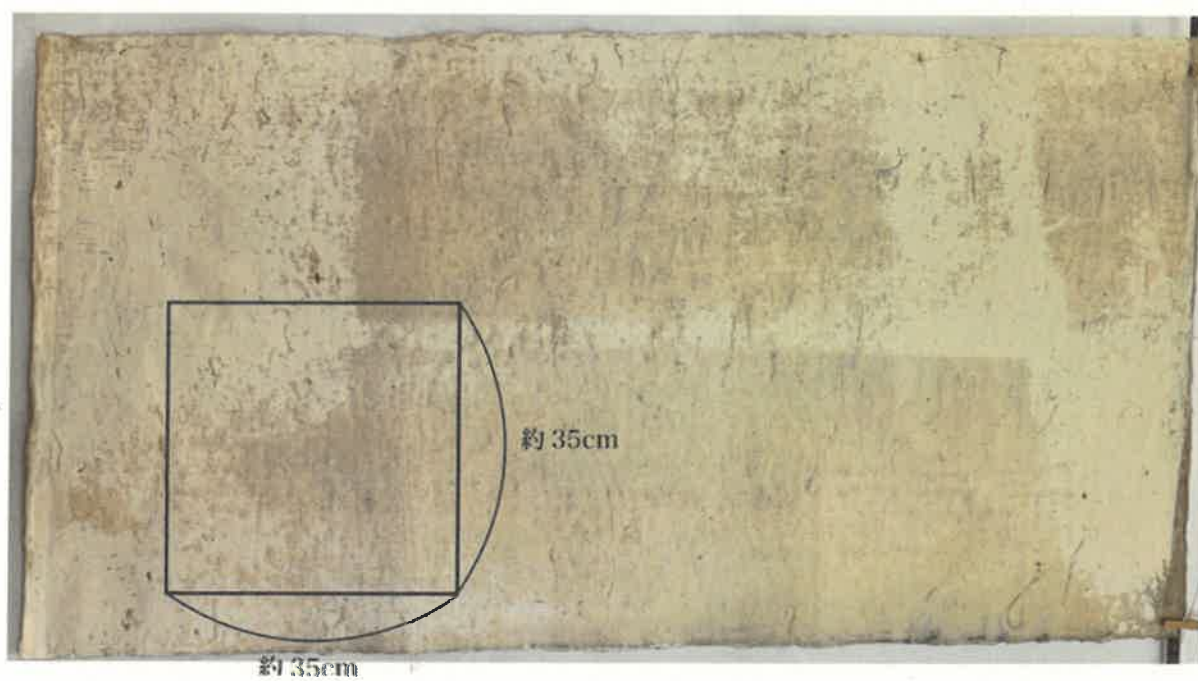


5

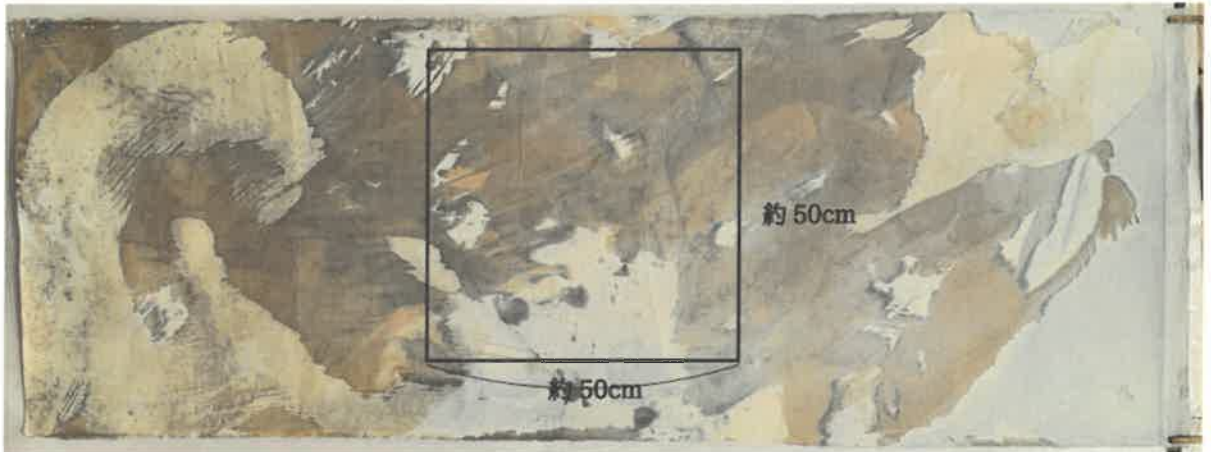
1 2



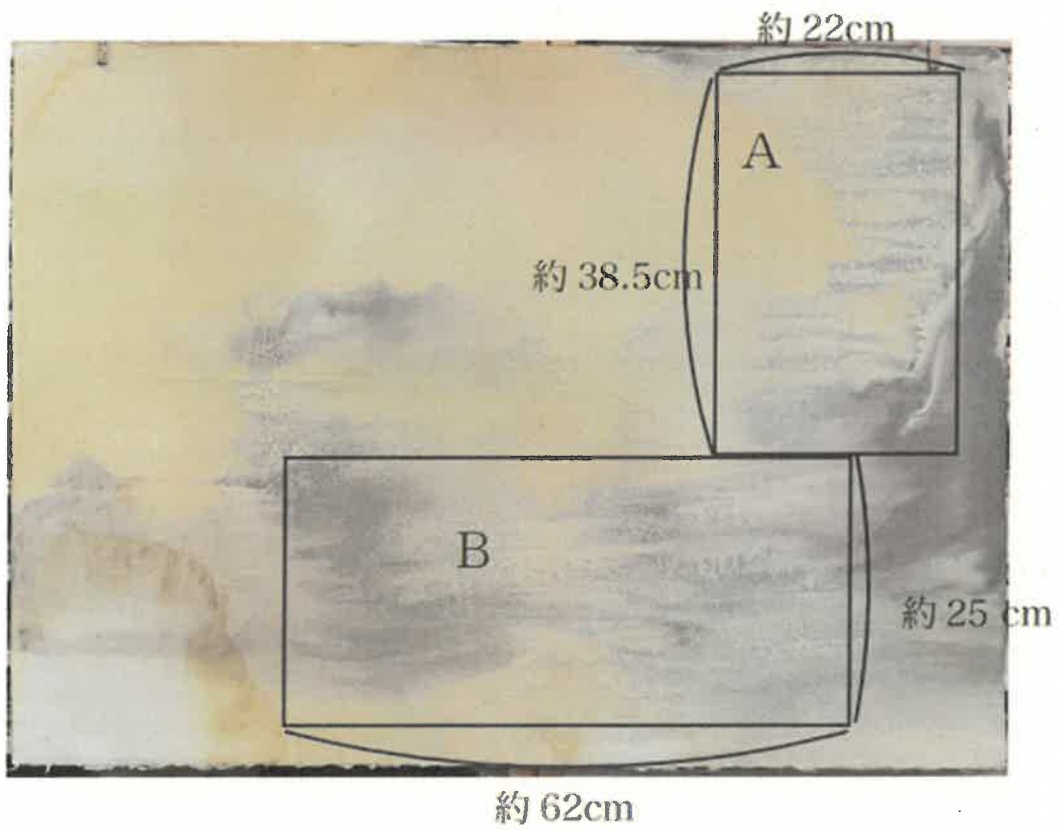
1 3



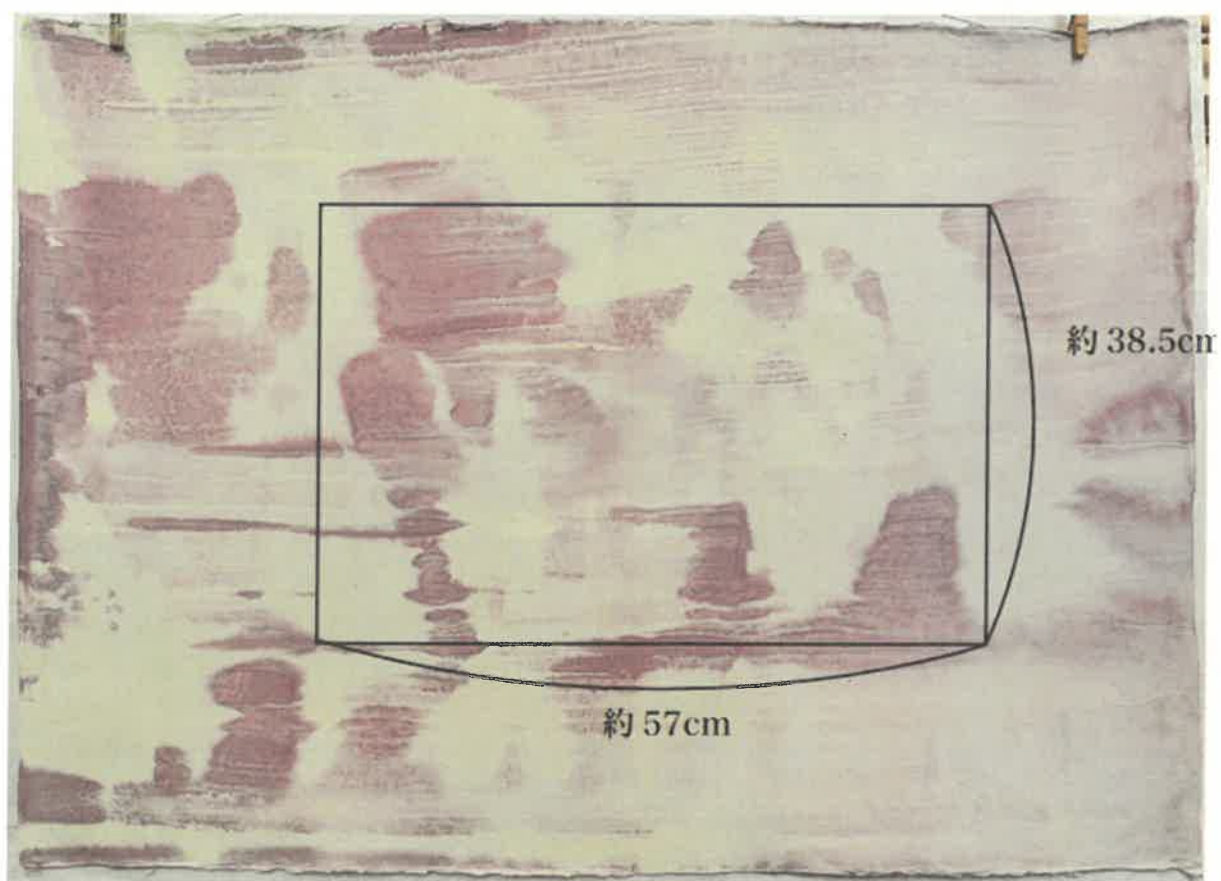
1 4



1 5



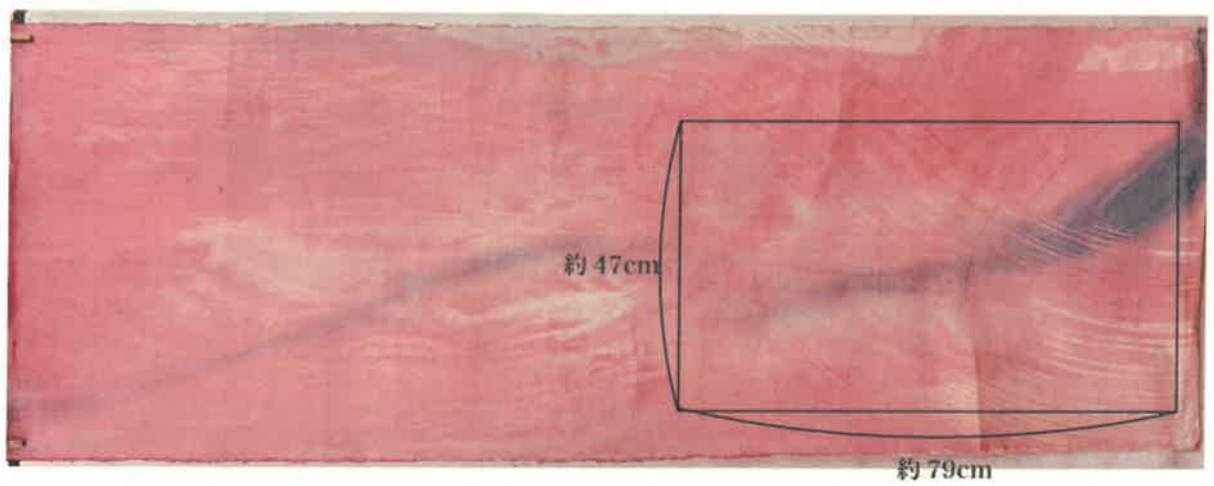
5



17

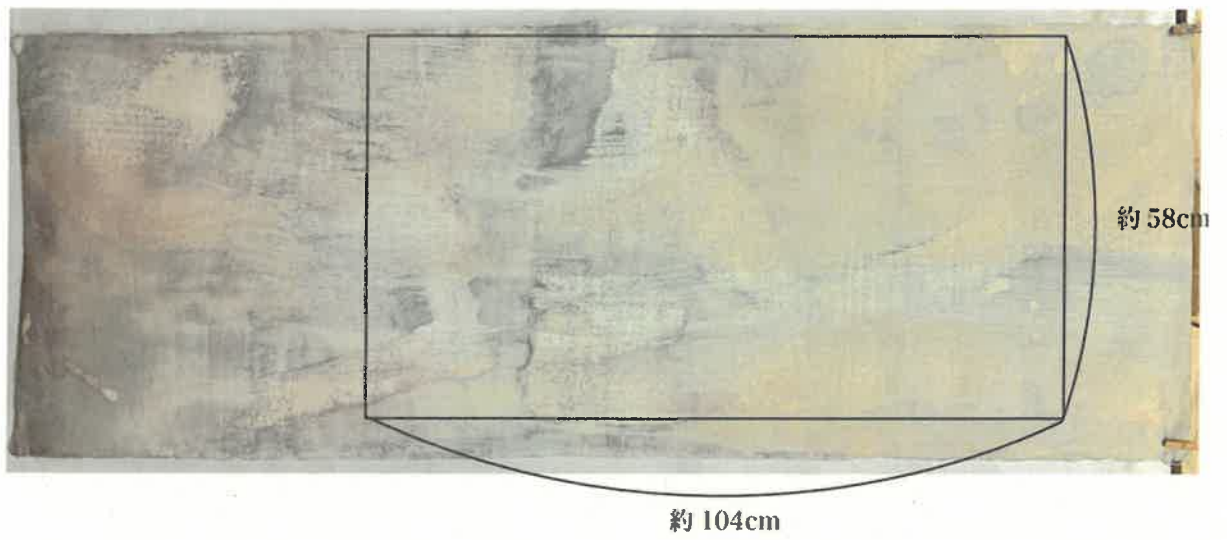


18

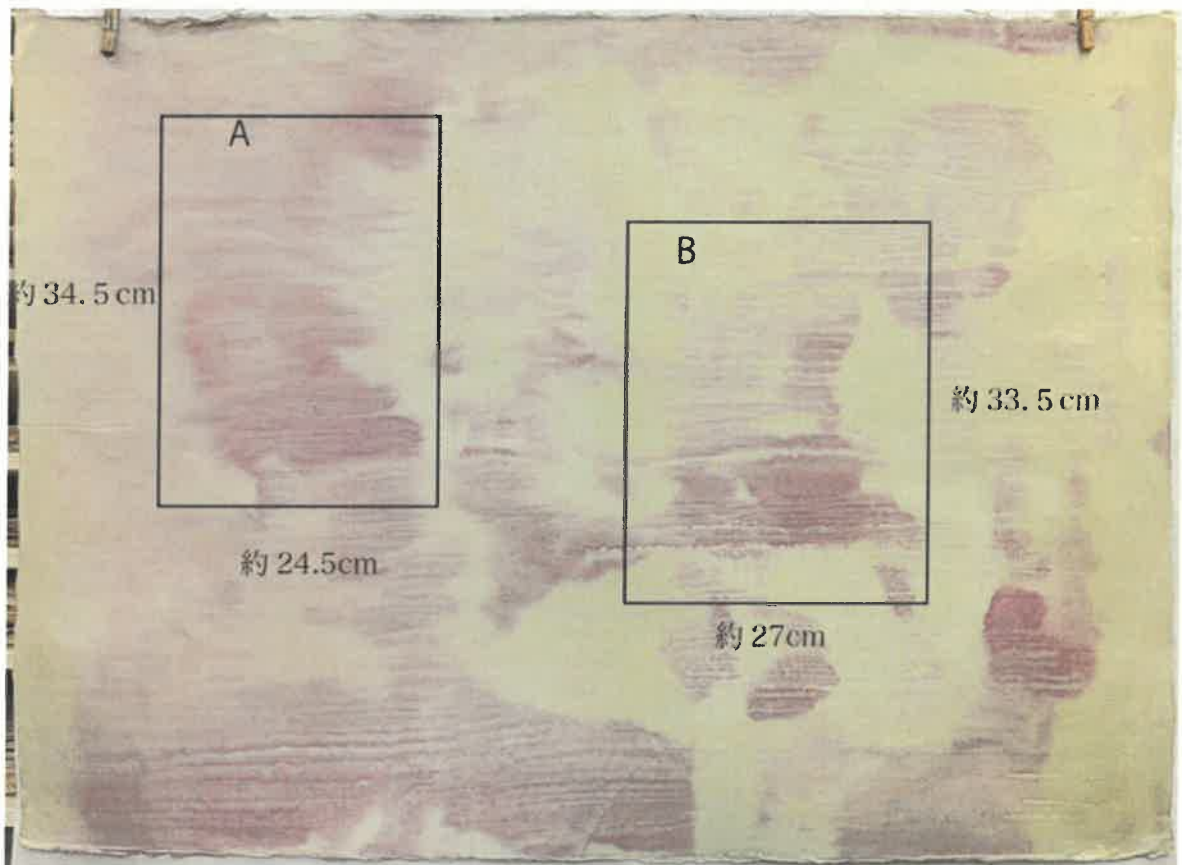


5

19



20



5

以上

別紙

類似染描紙大きさ一覧

- | | | |
|----|----|----------------|
| | 1 | 襖寸法 約 170×76cm |
| | 2 | 約 50cm × 75cm |
| 5 | 3 | 約 65cm × 180cm |
| | 4 | 約 74cm × 100cm |
| | 5 | 約 74cm × 100cm |
| | 6 | 約 74cm × 100cm |
| | 7 | 約 180cm × 65cm |
| 10 | 8 | 約 92cm × 62cm |
| | 9 | 約 180cm × 65cm |
| | 10 | 約 65cm × 180cm |
| | 11 | 約 65cm × 180cm |
| | 12 | 約 74cm × 100cm |
| 15 | 13 | 約 74cm × 140cm |
| | 14 | 約 65cm × 180cm |
| | 15 | 約 74cm × 100cm |
| | 16 | 約 74cm × 100cm |
| | 17 | 約 74cm × 100cm |
| 20 | 18 | 約 65cm × 180cm |
| | 19 | 約 65cm × 180cm |
| | 20 | 約 74cm × 100cm |

以上

別紙

本件各染描紙の表現についての原告の主張

| | |
|------------------|---|
| <p>1 本件染描紙 1</p> | <p>濃淡の3つの色の画面。</p> <p>柿渋を基本に微妙に色味の似ている染料を使用して「濃淡」を作り出し、詫び寂びの境地に通じる深みのある表情を和紙の上に表現した。</p> |
| <p>2 本件染描紙 2</p> | <p>流れるような複数の太い線。</p> <p>自然界の常に変化し無限に近い多種多様な諸々の現象の一瞬を切り取るように描いた。</p> |
| <p>3 本件染描紙 3</p> | <p>左右に分けられた染料の柿渋による濃淡の面とその境目の凹凸、点在するにじみの点。</p> <p>柿渋を用いて一幅の絵画を和紙の上に出現させた。和紙と柿渋の組合せにより生み出される深い渋みは詫び寂びに通じる。</p> |
| <p>4 本件染描紙 4</p> | <p>上から下へ落下するように引かれた複数の線。</p> <p>雨や落下する水の様子を表現した。</p> |
| <p>5 本件染描紙 5</p> | <p>焦げ茶色の濃淡の醸し出す空間の情景。</p> <p>自然界の深遠さを和紙の上に出現させ、幽玄な状景をイメージした。</p> |
| <p>6 本件染描紙 6</p> | <p>斜めに交差する2つの異なった質を持つ複数の線。</p> <p>複数の線が交差することによって導かれる動きを表現した。一方を風、他方を雨に見立てれば、荒れ模様、嵐などと。</p> |
| <p>7 本件染描紙 7</p> | <p>斜めに引かれた複数の様々な太さ、表情の線。</p> <p>一方向に向かって引かれた複数の線によって導かれる力強い動き、更に斜めの方向に向かうことで激しさの表現が増す。</p> |
| <p>8 本件染描紙 8</p> | <p>染料の浸みているところと浸みしていないところが、ぽつんぽつんと</p> |

| | |
|-------------|---|
| | <p>点在している様子と形。</p> <p>和紙の吸湿性を利用し、浮かび、漂う様子を表現した。</p> |
| 9 本件染描紙 9 | <p>左右に緩やかに引かれた曲線。</p> <p>直線にはない曲線の持つ自由さ、柔らかさ、軽快さを用いて、自然界の動き、現象に近づくことを表現した。</p> |
| 10 本件染描紙 10 | <p>数種類の染料が混じり合うことによって織りなす微妙な濃淡と色相。数本引かれている筋雲に見える線とにじみの表情。</p> <p>和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。</p> |
| 11 本件染描紙 11 | <p>左上から右下に向かって斜めに引かれた複数の線。</p> <p>斜めに平行して一気に引かれた線によって動きを表現した。</p> |
| 12 本件染描紙 12 | <p>灰色の背景に、焦げ茶色の太い刷毛跡と、斜めにスピード感をもって引かれた白く抜けた複数の線。</p> <p>2つの違う刷毛跡を交差させ、染描で目に見えない動きを可視化して表現した。</p> |
| 13 本件染描紙 13 | <p>濃淡に分けられた色の面。</p> <p>リアス式海岸の地形のような表現により和紙の吸湿性によって作ることのできる形の面白さを追求し、自然の形の妙に近づくことを意図した。</p> |
| 14 本件染描紙 14 | <p>数種の染料が混じり合うように染描された様々な形。</p> <p>わき起こる雲の様子をイメージさせるものであり、和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。</p> |

| | |
|------------|--|
| 15 本件染描紙15 | <p>刷毛で掃かれるように描かれた青黒い色の雲の形と動きの表現。</p> <p>和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。</p> |
| 16 本件染描紙16 | <p>刷毛で掃かれるように描かれた赤紫の色の雲の形と動きの表現。</p> <p>和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。</p> |
| 17 本件染描紙17 | <p>刷毛で描かれた濃い茶色の雲と、別種の刷毛で引かれた沸き起こるような動きを感じさせる刷毛跡。</p> <p>和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。</p> |
| 18 本件染描紙18 | <p>画面いっぱいを覆い尽くすような赤紫の雲と、雲の間から垣間見るような空をイメージさせる濃い青紫の帯。</p> <p>和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。</p> |
| 19 本件染描紙19 | <p>焦げ茶色の濃淡とところどころの薄い青色の混じり合い、画面全体に見られる大小様々の無数ともいえる点々の表情。</p> <p>和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。</p> |
| 20 本件染描紙20 | <p>大きく刷毛で描かれた紫色の雲の形。</p> <p>和紙と水と自然染料の特質とこれらの関係性を活かして、空の一景</p> |

| | |
|--|--|
| | を表現した。当時、「空」をイメージして連作で制作していた「空の一景」シリーズの中の一作。 |
|--|--|

以 上